

2020年4月24日
学校法人 神奈川大学
株式会社 学生情報センター

神奈川大学国際寮にて教育プログラム「SDGs PBL プログラム」を開始

この度、神奈川大学(神奈川県横浜市、学長:兼子良夫)の国際学生寮「栗田谷アカデミア」の入寮生を対象とした教育プログラム「SDGs PBL プログラム」を、株式会社学生情報センター(京都府京都市、以下「ナジック」)が2020年4月25日より提供することとなりましたのでお知らせいたします。

「栗田谷アカデミア」は、多様なバックグラウンドを持つ者同士が起居を共にし、多彩な交流や体験を通して、文化的・歴史的背景に由来する価値観や個々の特性の差異を乗り越え、多様性を尊重し、新たな価値を生み出すコミュニティを創造することを目的としています。寮生には、自主的に物事を考え、広い視野に立ち、異なる言語や価値観を越えた真のコミュニケーションを実現することが求められています。「栗田谷アカデミア」が新設された2019年7月よりナジックが管理運営を行っており、この度、神奈川大学の掲げるビジョンに適う寮内の教育プログラムとして「SDGs PBL プログラム」を提供することになりました。

「SDGs PBL プログラム」は、半期ごとの基礎プログラムと実践プログラムで構成され、基礎プログラムでは、英語力の向上と多様性理解(自己・他者・地域)を、実践プログラムでは、当施設のコネクト「神奈川大学ダイバーシティ宣言に基づき、SDGsを推進できる人材を育成する」ための実践を図っていくものです。初日のオリエンテーションでは、寮生がSDGsを身近に感じることでできるカードゲームを通してSDGsの17のゴールから関心のあるテーマを選び、同じテーマを選んだ多国籍の寮生5、6人でグループを結成します。このグループ単位で、約5カ月間、英語でのグループワークやフィールドワークを行い、課題解決型学習式(Problem Based Learning)で、抽出した身近な課題を解決する実践を積んでいきます。

ナジックは寮管理業務と合わせ、基礎プログラムおよび実践プログラムの企画運営、ならびに教育プログラム全体のファシリテーションを担い、「栗田谷アカデミア」のコンセプト実現に尽力して参ります。

なお、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、2020年4月から9月までの前期プログラムにおいては、グループワークやセミナーはオンラインにて行い、チャットツールを活用し実施いたします。

以上

◆株式会社学生情報センターの会社概要 (2020年4月1日現在)

「ますます、学生のために。これからの社会のために。」
留学生も含めた学生の住まいから、アルバイト、就職支援まで、学生生活をトータルにサポートしています。

創業：1975年 所在：京都市下京区 代表者：代表取締役社長 吉浦勝博
従業員数：728名
事業内容：学生用住居の企画開発・管理運営、学生キャリア形成支援
コーポレートサイト：<http://www.tokyu-nasic.jp/>
(株式会社学生情報センターは、東急不動産ホールディングスのグループ会社です。)

【本件に関するお問い合わせ先】

学校法人神奈川大学 広報課 kohou-info@kanagawa-u.ac.jp ※

※現在は事務取扱中止につき電話対応していませんので、メールでお問合せください。

株式会社学生情報センター 広報室 寺田 TEL:090-9997-0457